

『気仙沼市鹿折まちづくり協議会』の皆様が 三陸沿岸道路の工事現場を見学します。

～(仮称)気仙沼湾横断橋と大峠山地区の工事現場を見学～

三陸沿岸道路のうち、(仮)気仙沼IC(気仙沼市松崎高谷)から唐桑南IC(気仙沼市唐桑町只越)までの延長約9kmをつなぐ気仙沼道路の区間において、「(仮称)気仙沼湾横断橋」と「大峠山地区」の工事現場を「鹿折まちづくり協議会」の皆様に見学いただくこととなりました。

仙台河川国道事務所では、復興道路と位置づけられている三陸沿岸道路においてこうした現場見学会を積極的に開催し、工事の進捗状況を現場で実際にご覧いただき、地域の復興の足音を直に感じて頂けるよう取り組んでいます。

三陸沿岸道路は、延長35.9kmの自動車専用道路(鳴瀬奥松島IC以北は無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興道路)として位置づけられています。

また、三陸沿岸道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

記

- 実施日時 平成27年10月31日(土) 9:00～(2.5時間程度)
- 集合場所、時間 『鹿折復幸マート駐車場』気仙沼市新浜町1-3
9:00集合後、現場まで先導します
- 見学場所 ①大峠山地区道路改良工事 9:40頃～
②(仮称)気仙沼湾横断橋 11:10頃～
- 参加者 鹿折まちづくり協議会関係者

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先

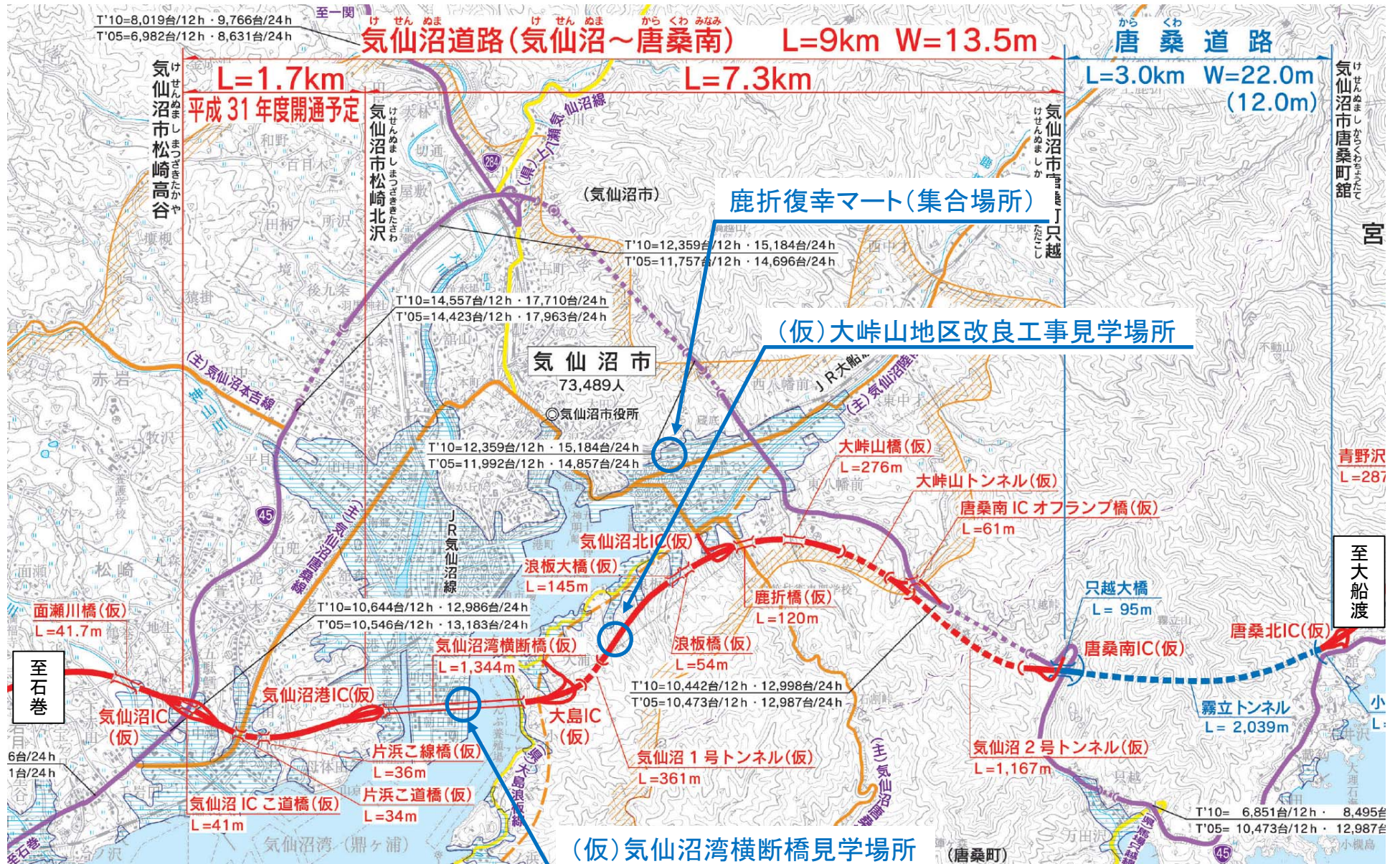
《事業及び現場見学会についてはこちら》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話 022-248-4131(代)

副 所 長 たぐち かずひろ 田口 和弘 (内線205)

設 計 課 長 ししど ひでお 宍戸 英雄 (内線461)

気仙沼道路（気仙沼～唐桑南）見学場所



(仮称) 気仙沼湾横断橋の概要

◆橋梁形式

- 海上部：① 3 径間連続鋼斜張橋
- 陸上部：② 鋼 7 径間連続箱桁橋 + 鋼 3 径間連続箱桁橋
- 橋長：1,344m
(①680m+②664m)

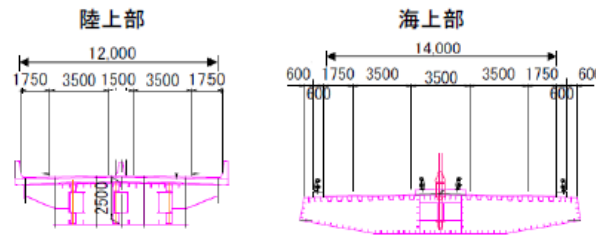
◆桁下クリアランス → 32m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高 2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶
(貨物船 マスト高 29.287m)
 - ・想定津波高
(レベル2津波痕跡高、TP+10m)

◆橋脚天端 → TP+15m

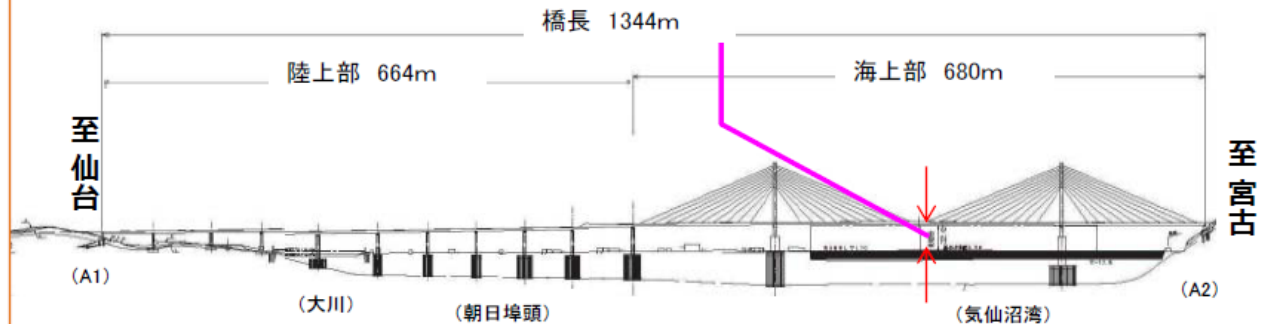
- 天端は津波時水位より上
(鋼製主塔を海水にさらさない)
- 津波時漂流船舶の船首が主塔に衝突しない高さ
- 平常時に既往最大船舶の船首が主塔に衝突しない高さ

▼ (仮称) 気仙沼湾横断橋の全体イメージ



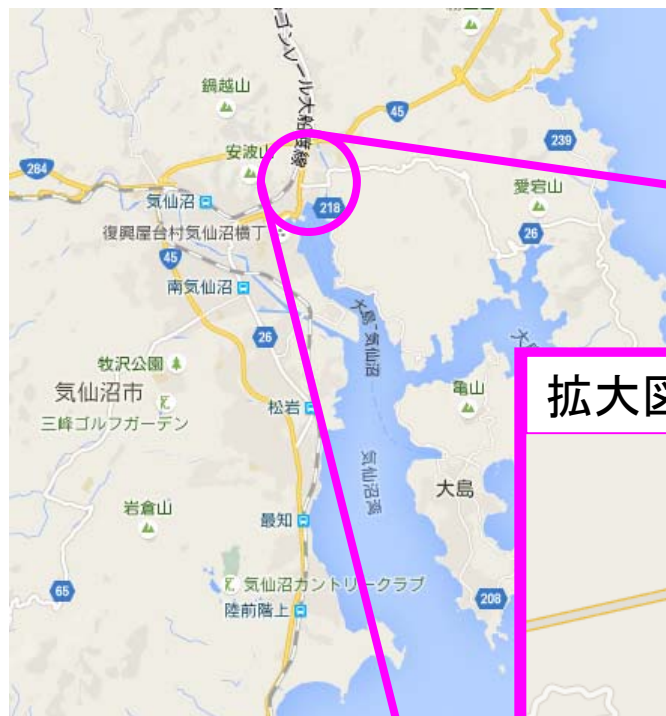
【海面から橋桁までの高さ32m】
・航路確保及び津波漂流物を回避

▲標準断面図



現地見学会集合場所 案内図

取材の方は、平成27年10月31日(土)
9:00までに『復幸mart駐車場』へ集合願います。
気仙沼市新浜町1-3



拡大図



気仙沼道路の整備効果

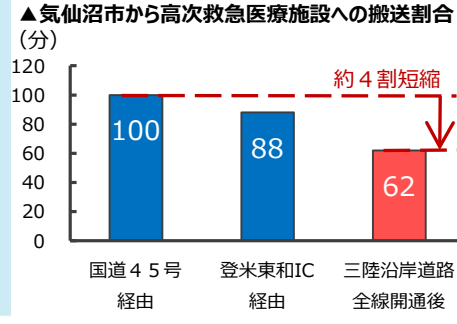
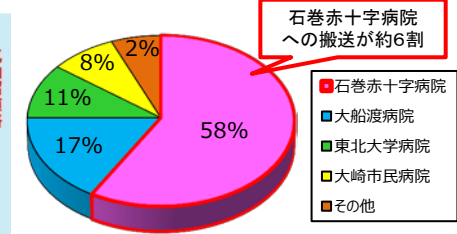
効果①: 災害時における緊急輸送路の確保

- ◆ 津波により国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、大規模災害時でも緊急輸送路が確保され、緊急支援物資等の輸送が可能



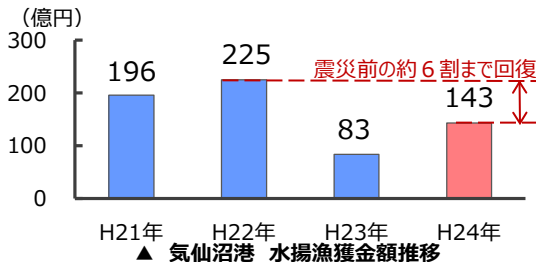
効果②: 高次救急医療施設への速達性の確保

- ◆ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送は、石巻赤十字病院が約6割
- ◆ 搬送時間が約4割短縮し、迅速な救急搬送を支援



効果③: 気仙沼市の主要産業である水産業を支援

- ◆ 気仙沼港の水揚げ漁獲高は、震災以前の約6割まで回復
- ◆ 気仙沼道路の整備により、水産物等の輸送効率化・品質向上が図られ、主要産業である水産業の復興を支援



輸送時間短縮による鮮度向上 → 商品価値の向上・さらに遠方へ出荷が可能に

